



2026 年 10 月 9 日

各 位

会社名 株式会社サイバー・バズ
代表者名 代表取締役社長 高村彰典
(コード番号：7069 東証グロース)
問い合わせ先 取締役 岩田真一
(TEL. 03-6758-4738)

連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえ、2026 年 5 月 14 日に開示いたしました 2026 年 9 月期（2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）の通期連結業績予想を上方修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値の修正

2026 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,200	百万円 520	百万円 487	百万円 368	円. 銭 45.55
今回修正予想 (B)	8,600	668	647	520	64.12
増減額 (B-A)	400	148	160	152	—
増減率 (%)	4.8%	28.4%	32.8%	41.3%	—
(参考) 前年実績 (2025 年 9 月期)	7,131	349	344	385	47.97

※当社は、2026 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、上記「前回発表予想 (A)」及び「(参考) 前年実績」における「1 株当たり当期純利益」についても、当該株式分割後の基準に換算した数値を記載しております。

2. 連結業績予想の修正の理由

当社グループが事業展開を行う国内インターネット広告市場は、動画広告を中心に拡大しており、2025 年においても前年比 10.8%増の 4 兆 456 億円となり、一定の成長を継続しております。かかる中、当社グループにおきましても、堅調に受注を獲得しており、主力の SMM 事業及びライブ配信プラットフォーム事業が年率二桁以上の売上高成長率で推移するなど、業績は想定を上回って推移しております。

今回の修正予想に際し、売上高に関しましては、主力事業である SMM 事業及びライブ配信プラットフォーム事業において、期末にかけて複数の追加受注を獲得し、納品に至ったことから、前回予想を上回る見込となりました。

利益面につきましては、売上高の伸長による売上総利益の増加に加え、AI を活用した業務効率の向上、継続的なコストマネジメントにより、営業利益が前回予想を大幅に上回る見込となっ

たほか、一部予定していました戦略投資（コスト）につきまして、期ずれにより来期以降の実行見込となったことで費消をしなかった関係から、追加的に営業利益が前回予想を大幅に上回る見込となりました。

上記により、経常利益以下の各段階利益においても、同様に前回予想を上回る見込となりました。

これらの状況を総合的に勘案した結果、2026 年 9 月期通期連結業績予想を修正することといたしました。

なお、決算説明資料等でご説明のとおり、当社は 2026 年 9 月期におきまして、戦略投資予算として通期で 150 百万円を費用計上する予算計画とし、業績の進捗を見つつ、予算計画を上回る可能性も踏まえ各種投資を進行しておりましたが、結果として、予定していた戦略投資予算のうち約 70 百万円程度が来期以降への期ずれとなった関係から、通期の戦略投資実績は 124 百万円となり、これらを踏まえた、業績予想修正後の調整後営業利益としましては、通期で 792 百万円を見込んでおります。

また、期ずれとなりました戦略投資予算約 70 百万円につきましては、将来の事業成長に必要な戦略投資として今後実行を見込むことから、内容を精査の上、次年度である 2027 年 9 月期の業績計画にコストとして織り込み、執行をしまいる予定です。

<別表 1>（参考）2026 年 9 月期通期 戦略投資予算及び調整後営業利益

	前回発表予想時点	今回発表予想時点
連結営業利益	百万円 520	百万円 668
戦略投資予算	150	124
連結調整後営業利益	670	792

※調整後営業利益＝戦略投資予算控除前の営業利益

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報ならびに合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではございません。また、実際の業績等は今後の外部要因等も含めました、様々な要因により異なる可能性があります。

以上